

## 福井大学感染特別警報のお知らせ

教職員の皆様へ

本学教職員の皆様には、パンデミックの中、日頃厳しい環境下、本学の管理、運営にご尽力頂き有難う御座います。

さて、本学は、4月23日(金)より、5月16日(日)の間、「福井大学感染特別警報」(以下特別警報)を発令します。

本パンデミックを第一波から経験してきた方は実感されていると思いますが、我が国では、第三波迄の若年者の感染しにくさは影を潜め、PCR陽性者が増加しており、これは、本学での経験のとおりです。要因として、人の側の油断も無きにしも非ずですが、むしろ変異ウイルスの持つ感染し易さ、毒性の強さの変化が大きく、相撲に例えれば、相手が前頭から横綱、大関級に変わったと考えて下さい。残念ながら今のところ、横綱変異ウイルスに対する新しい劇的な対処法はなく、だからこそ、本拡大警報で述べる、当たり前かつ基本的な対処法を必ず頑なに守ってください。それにより、しっかり感染を回避することで、皆さん御自身の罹患、重症化、長期の予期せぬ後遺症を免れ、周囲にいらっしゃる皆さんにとって大切な高齢者や年少者ひいては一般市民の方の感染をできるだけ防ぐことができます。おそらく現在ワクチンの接種は最も有効と思われるかもしれませんが、今しばらくの時間を要します。それを期待しつつ今しばらくの、ご辛抱をお願い致します。

学長 上田孝典

# 福井大学感染特別警報

【期間 令和3年4月23日(金)～令和3年5月16日(日)】

- ・ 面会時、絶対にマスク着用、面会後は、手指消毒
- ・ 学生・教職員全員で感染対策徹底（リスク分類・年齢にこだわらず）
- ・ 基本の感染対策を地道に徹底（感染予防の王道なし）
- ・ 同居家族以外との会食は必ず4人以下で。飲食中に会話する場合は、マスク着用
- ・ 県外の不要不急の往来は自粛（特に、緊急事態宣言発令地域）
- ・ 体調・行動歴の記録
- ・ 警報発令中も、福井の知(地)の拠点を守り抜く

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数層などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしで近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、寝カライオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

